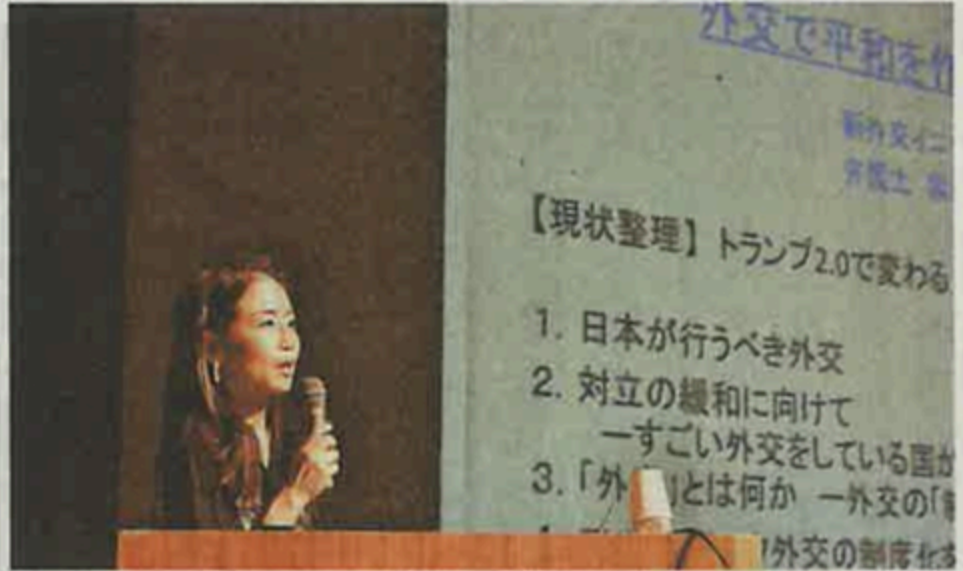


平和へ官民の外交重要

盛岡・九条の会東北交流会

猿田代表(新外交イニテ)が講演



戦争を起こさないための外交の重要性を訴えかける猿田佐世代表

九条の会東北交流会は24日、盛岡市中ノ橋通のプラザおでつてで開かれた。外交・安全保障について政策提言するシンクタンク、新外交イニシアティブ(東京)の猿田佐世代表(48)が講演し、平和のための官民あら

ゆるレベルでの外交の重要性を説いた。約120人が聴講し、オンラインでも配信。猿田代表は「トランプ政権下で、人類が目指してきた『人権・民主主義・法の支配』が壊されている」とし、揺ら

ぐ日米関係と想定される展開を説明。台湾有事で日本が戦場となる懸念を示し「中国との戦いだだが、防衛予算を倍にしたとしても全くなわれない」とした。日本がすべきことの一つは対立緩和の外交だとし、「米国と中国いずれかを選ぶことを望まない」とする近年の東南アジア諸国を例として紹介。政府も市民社会も日常的に協力関係

を築くことが緊急時に生きると強調した。「耐えがたい戦争を受け入れる困難は、外交による問題解決の困難を上回る」と締めくくった。盛岡市黒石野の団体職員五十嵐久美子さん(65)は「まずは自分ができることをしていきたい」と話した。交流会は、東北各県の「九条の会」で構成する実行委が主催した。